

水銀混入ごみによる目黒清掃工場1号炉の停止及び再稼働について

東京二十三区清掃一部事務組合は、目黒清掃工場1号炉の排ガス中の水銀濃度が自己管理値を超えるおそれが生じたため、運転を停止した。その後、必要な調査、点検及び清掃を行った上で再稼働した。経過等については、下記のとおりである。

記

1. 停止日時 平成23年2月22日 16時55分

2. 再稼働日時 平成23年3月10日 20時

3. 再稼働に向けての対応

設備の汚染状況の調査、点検及び清掃

4. 不適正ごみの搬入防止策

プラント設備機能などを脅かす不適正なごみの搬入防止に向けて、更なる搬入物検査の強化と「不適正搬入防止検討委員会」^{※1}での対応を継続して講じていく。

【参考】今年度に水銀混入ごみにより停止した清掃工場と復旧状況等

	工場名	停止炉	停止日	復旧日	主な復旧作業内容	物的被害金額
1	足立	2号炉	6月11日	9月3日	点検、部品の交換、清掃	約2億8千万円
			9月16日	9月27日	点検、清掃	約50万円
2	板橋	2号炉	7月1日	7月17日	点検、清掃	約50万円
3	光が丘	1号炉	7月8日	8月13日	点検、清掃	約550万円
		2号炉		10月18日		約50万円
4	千歳	1号炉	7月18日	7月28日	点検、清掃	約50万円
5	目黒	1号炉	2月22日	3月10日	点検、清掃	約300万円

※1 「不適正搬入防止検討委員会」は清掃工場等への不適正搬入の防止及び不適正搬入があった際に迅速かつ横断的に対応するため、23区と東京23区清掃一部事務組合及び東京都をオブザーバーとして、平成22年11月に設置された。